

令和4年度 第2回川崎市社会教育委員会議多摩市民館専門部会次第

日 時 令和4年9月12日(月)

午前10時～

会 場 多摩市民館 第6会議室

1 開 会

2 部会長挨拶

3 館長挨拶

4 令和4年度第1回会議録について(確認) 資料1

5 報告事項

(1) 令和4年度施設の維持管理運営について 資料2

(2) 令和4年度多摩市民館社会教育振興事業について 資料3

6 議 題

今期のテーマについて 資料4

7 その他

第3回専門部会日程について(別紙参照)

8 閉 会

令和4年度 第1回川崎市社会教育委員会多摩市民館専門部会摘録

- ・日 時 令和4年6月17日(金) 午後2時～4時
- ・場 所 多摩市民館 第4会議室
- ・出席委員 小澤(洋)委員、小澤(章)委員、米山委員、齊藤委員、吉田委員(部会長)、三品委員、高梨委員(副部会長)、小園委員
- ・事務局 柏原館長、篠原係長、池谷主任
- ・生涯学習推進課 野崎課長補佐、紺野係長
- ・傍聴者 なし

○市民館・図書館の管理・運営の考え方について(生涯学習推進課)

- 1 開 会 (池谷主任)
- 2 館長あいさつ (柏原館長)
- 3 委嘱状交付 (机上配布、柏原館長氏名読上げ)
- 4 専門部会委員紹介 (自己紹介)
職 員 紹 介 (自己紹介)
- 5 多摩市民館専門部会について
○柏原館長より資料1に基づき説明
- 6 部会長・副部会長選出
○部会長：吉田委員、副部会長：高梨委員を選出

7 議題

報告事項

報告事項

(1) 令和4年度施設管理等について

○池谷主任より資料3等に基づき説明

(齊藤委員)

ふれあいネットの団体カードが無くなった理由は何か、システム上の問題か。個人カードになると競争率が上がるのではないかと。

(事務局：池谷主任)

団体カードは同じ人が複数の団体を作り複数枚カードも持つことができるため、市民一人にカード一枚という平等性の考え方で整理した。申込が集中するのではないかと危惧の声もあるので注視していくが、市民館は社会教育施設なので各団体には月4回の抽選、利用をお願いしている。

(2) 令和4年度多摩市民館社会教育振興事業計画について

○篠原係長より資料4に基づき説明

(三品委員)

寺子屋先生をやっているが、出来る子と出来ない子がはっきりしていて、出来ない子をどう救うかが課題で、強化してほしいと思う。市民館の事業とは関係がないのか。

(事務局：篠原係長)

市民館は寺子屋コーディネーター育成を担っており、寺子屋先生の育成は生涯学習財団が担っている。また寺子屋事業は教育委員会事務局の地域教育推進課が所管している。市民館ではコーディネーターの情報交換会を年1回行うので所属されている寺子屋のコーディネーターの方にお話ししてみてもいいか。

(齊藤委員)

菅小学校の寺子屋を立ち上げる際にコーディネーターをやっているいろいろな所を見学したが、勉強を教えないところもあり、学校によってかなり異なる。寺子屋全体を教育の方向へ持っていくのは難しい印象がある。

(三品委員)

寺子屋事業ではなく、何か別の事業ができないかと思う。出来ないまま進級してしまうのはかわいそうだ。

(小澤(洋)委員)

当校でも好評で次年度も希望する子は多く、親の希望もあり学年を拡大してきている。勉強を教えてもらいたい子や家に家族がいない子、寺子屋先生が創意工夫して実施するイベントが楽しみにしている子と様々な子どもたちに対応してくれている。

協議事項

(1) 今期の進め方について

「テーマ」について

○柏原館長より資料5に基づき説明

(小澤(章)委員)

登戸周辺の区画整理で高齢者は来づらくなっている。落ち着いたら利用したいとの声もある。駅に近い生田出張所で活動したいとの声もある。私の周りでは市民館の認識は上がってきていると思うが、若い人は少ないと思う。

(小園委員)

コロナ禍で遊びを模索する中、安全な所、家でしか遊べない。そして家にも遊び方が分からない。子どもたちを外に引き出していくには何かないか考えている。外は危険というイメージがまだまだある感じ。一步でも自宅から遠ざかるきっかけが持てたらと思う。地元にいることが安心安全であるという思いを植え付けられたらと思うが、どう落とし込んでいったらいいのかイメージが湧かない。まずは外遊びが出来たらいいと思う。

(吉田部会長)

学校の校庭は何時ぐらいまで開放されているのか。

(小澤 (洋) 委員)

学校によって異なるが、当校では放課後はわくわくプラザでの利用になっている。川崎市では校庭を児童だけでなく地域に開放する施策の検討もしているので、広がっていくのではないかと。

(吉田部会長)

子どもたちが遊びを通じて学んでいく機会が少なくなっている。広場があってもなかなか子どもたちが遊んでいる風景を見ない。

(小園委員)

どういう風に遊んだら楽しいのか全く思い浮かばない。スペースがあるのに何で遊ばないのかと思う。大人からどんどん提案していかないと遊び方が分からないのが現状ではないかと。

(小澤 (章) 委員)

「たまたま子育てまつり」では色々な遊びを教えてくれているのではないかと。

(事務局：柏原館長)

例年4～5000人が参加しているが、昨年、一昨年と中止になり、3月にミニまつりを行った。今年度は簡単な事前登録によるイベントと当日参加できるイベントを計画しており、飲食の出店も出せず、感染対策しながら安全・安心して参加してもらうことになるので2000人ぐらいの規模になることを想定している。

(事務局：篠原係長)

たまたま子育てまつりは室内で行うので丁寧にやっていきたいが、遊び方が分からないということについては展示会的なところもあるので、市民館としては意見交換、情報提供をして繋がり場になってほしいと思う。

(小澤 (章) 委員)

多摩川の河川敷では色々な遊びをしているサークルがある。機会があれば参考にしてみようかと。

(三品委員)

ふれあいということでは小学校、中学校、高校まで入ったふれあいを意図的に作る場を提供できたらと思う。

(小澤 (洋) 委員)

川崎市でもコミュニティスクールの導入が進められていて、当校では隣の南生田中と小中連携でクリーン活動やあいさつ運動などを一緒に取り組んできている。最近ではコロナでほとんどできていなかったが、地域性でうまくできる地域はたくさんある。

(三品委員)

勉強の話ですが、中学生が小学生を教える。教えるとなると考えなければならないので自分の勉強にもなる。上の学年が下の学年を教える場を作ってあげたらと思う。また碁や将棋は年齢が違っててもできるので場を作ってはどうかと思う。

(小澤 (章) 委員)

子どもたちは塾やお稽古事でもとても忙しいのではないかと。中学生は部活もある。

(三品委員)

寺子屋は「お預かり」という感じだ。塾に行かない子もかなりいて、親が面倒見れないから行って来いというように感じる。せつかくのいい制度だが今一步に感じる。もうちょっとやれば良くなる。

寺子屋先生たちは一生懸命やっていて、色々なことを提供しているが時間が足りない。もうちょっと選択と集中でこれをやるんだとした方がいい。寺子屋で無理ならば何かを作ったらどうかと思う。ここでできる事は分からないが。

(小澤(章)委員)

趣味の関係で寺子屋へ指導に行っているが子どもたちはいきいきとしている。

(吉田部会長)

寺子屋を通して世代間交流が出来ればいいと思う。

(齊藤委員)

世代間交流が寺子屋の隠れテーマだと思う。各校の寺子屋はそれぞれ違うが、勉強をメインにしているところは少ない印象だ。毎週顔を合わせて近所に知り合いのおじいちゃん、おばあちゃんが増えることが狙いの一つ。親も最初は勉強で預けるけど、勉強を一生懸命やらせているわけではなく、地域の顔見知りを増やすとか、知り合うことで子どもたちに大きな影響を与えている。勉強がメインになると来なくなる子はいくのではないか。交流の部分が楽しいのがほとんどなので、勉強のことを全て寺子屋に担わせるのは難しい。テーマについては子どもの話題が出ていて、鉄道の講座もあるのでそこが絡められればいいかと思う。

(吉田部会長)

子どもたちは市民館のことすら知らない。先生に大ホールに連れてこられることはあるけど。市民館を理解してもらうということはどうでしょうか。

(事務局：柏原館長)

今週決めるのではないので話題を拡げていただければと思う。

(米山委員)

あまり活用したことがない。遠いので生田出張所の方がいい。詳しいことを知りたい。知っている人は知っているが、無関心な人が多い。

(事務局：柏原館長)

市民館は区に一つなので遠い地域の方には不便だと思う。これまで市民館に来る人を対象にしていた事業をアウトリーチということで地域に出て事業を展開することが必要ではないか。不便ということが社会教育振興の障害になっているというところもある。距離が近いのか、ということもあるが、情報が届くということも身近さにつながると思う。

(齊藤委員)

団体に関わっていないと市民館に来る必要がないし、興味のない人に関心を持ってもらうのは難しい。市民館だよりは一律に配られるがチラシは興味がないと手に取らないので、いかにキャッチーに届けたい人に見てもらえるようにするかだと思う。

(高梨副部会長)

子どもの読み聞かせのイベントとかに自転車に子どもを乗せて来ている。近くのこども文化センター

に行くほうが安全で気軽に行けるが、逆にいうと住んでいる地域以外の人と関われるメリットがある。区全体の中で関わりが作れるのが強みだと思うのもっと前面に出せるといいかもしれない。

大学生に公民館の認知度を訪ねると、子どもの頃以来行っていないが、自分たちが参加したら楽しい企画、例えば一人暮らしの料理教室とかがあったら行くとのことだった。認知度についてターゲットを絞っていった方がいいと思う。漠然と広報するよりも検証もしやすい。いろいろな年代の方に来ていただきたいが、地域との関わりは人生の段階ごとにグラデーションがある。中高生のころは関わりがないけど子どもが生まれたりすると関わりができてくる。

また、コロナで中断したことをどのように復活させるかということでは、交流の場の提供という使い方
方で市民館は役割を果たせると思う。

(吉田部会長)

テーマについては今回決める必要はないので次回までの宿題としたい。今回の意見を踏まえて事務局でも検討をお願いします。

(2) その他・・・特になし

8 今年度の日程について 第2回・・・9月12日(水) 10時～

9 閉 会

令和4年度施設の維持管理運営について

施設維持補修（軽易工事）

- 1 [施工予定] バリアフリー調査に基づく改修工事
 - (1) 多摩市民館屋外階段手摺設置工事
 - (2) 大ホール内ホワイエ等点状ブロック敷設その他工事

管理運営

[実施報告]

クールシェアルームの開設

電力供給が厳しくなる夏季において、一人1台のエアコンの使用を控えて公共施設や商業施設に出かけ涼しい場所を共有することで地球温暖化防止や節電につなげる取組として、市民ギャラリーを活用してクールシェアルームを開設しました。

期 間 令和4年7月29日（金）から8月31日（水）まで

時 間 9時から17時まで

対 象 中学生以上の市民（保護者同伴の場合は小学生以下も可）

利用者 延べ360人、午後からの利用者が約7割

過去の実績

年度	実施期間	実施日数	延べ利用者	1日当たり利用者
H31	8/2～8/14	13日	166人	12.8人
R2	8/7～9/2	26日	255人	9.8人
R3	7/30～9/1	33日	322人	9.7人
R4	7/29～8/31	34日	360人	10.6人

I 社会参加・共生推進学習事業

1 識字学習活動～日本語学級～

日常生活に必要な日本語の会話・読み書きの基礎学習の支援をし、学習者とボランティアが学び合う関係づくりをとおして、多文化共生社会の実現をめざす。

(1)水曜・午前コース 令和4年4/8～令和5年3/15(年間継続) (10/5から生田出張所で開催予定)

学習支援グループ:ボランティアグループ「多摩にほんごの会」

《保育》保育ボランティアグループ「多摩保育グループ」

(2)金曜・夜間コース 令和4年4/1～令和4年3/17(年間継続)

学習支援グループ:ボランティアグループ「たま語」

2 識字ボランティア研修

識字学習活動に参画するボランティアの育成と資質の向上を図る。

(1)日本語ボランティア研修(入門研修)

地域で活動する日本語ボランティアの育成を図る。

(2)日本語ボランティア研修(ブラッシュアップ研修)

昼・夜両クラスの日本語ボランティアのスキルアップを図る。

5/28(土)～6/29(水) 全4回

3 障がい者社会参加学習活動 (青年教室)

地域での体験活動や交流をとおして障がいのある人の社会参加を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現をめざす。

5/28(土)～3/18(土) 月1回土曜 【年間継続】

参加登録者 29人(参加者を2グループに分けて隔月で活動・5月と9月、3月は午前午後入れ替え制で実施)・ボランティア 18人

5月:オリエンテーション・自己紹介 6月:アート体験・お面作成① 7月:アート体験・お面作成② 9月:全体会 10月:バスハイク① 11月:バスハイク② 12月:未定 1月:未定 2月:未定 3月:1年の振り返り

II 市民自治基礎学習事業

1 平和・人権・男女平等推進学習

憲法・教育基本法の理念に基づき、世界の平和及び人権の尊重、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造や男女共同参画社会の形成を目指す。

8月企画運営委員会が立ち上がり、企画検討中

2 青少年教室事業

小学生・中学生・高校生等を対象として、青少年期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。

「鉄道の歴史から知る多摩区の魅力発見講座」

中学生～20代を対象に、南武線や小田急線の歴史について、DVD鑑賞、講義、現地見学などで学ぶ。また、自分のお気に入りの風景のジオラマを作製し、最後に参加者のジオラマの中で鉄道模型を走らせる運転会を開催。

7/10～8/7 全5回 毎週日曜日(7/31は除く)、第4回は8/6土曜日 多摩市民館ほか

3 シニアの社会参加支援事業

地域活動への参加や地域との関わり方等についての啓発事業として実施し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援する。

「とことん『幸』^{こう}齢者!高齢になるほど幸せに!!」

企画運営委員会「チームとことん！」(公募委員6人)と協働して実施。新規企画運営委員1人

『幸』齢者とは、「『地域で輝いている』『地域に必要とされている』生きがいを持って毎日の生活を送り、幸せに年を重ねる」人のこと。『幸』齢者になるきっかけがつかめる講座。

9/30～11/4 10:00～12:00 全5回 毎週金曜日(10/14は除く) 定員25人

会場: 生田出張所大会議室、生田緑地ばら苑

4 高齢者セミナー

高齢期の課題解決に向けた学習機会を提供する。また、学習を通じた、生きがいづくりや健康づくりを促進するとともに、幸福な高齢期をおくるための支援をする。

実施時期 冬に開催予定

会場: 多摩市民館ほか

5 家庭・地域教育学級

子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し親として市民としての学びを支援する。

I期「子どもも大変!?小学生に現れる心の変化とリフレッシュ」 6/9(木)～7/9(土)

10:00～12:00 全5回 定員20人 保育つき 会場: 多摩市民館 第1・2学習室、体育室

II期「イヤイヤ期!子育て暮らし応援講座」 8/25(木)～9/29(木)

10:00～12:00 全5回 定員15人 保育つき 会場: 多摩市民館 第1・2学習室

6 市民館保育活動

親等の学習活動への参加を支援し、乳幼児の社会的成長を支援するために、主催事業に適宜併設する形で保育活動を実施する。

【識字学習活動(昼)、家庭・地域学級Ⅰ・Ⅱ】

(識字学習活動(昼)の保育は休止中)

保育グループ:多摩保育グループ

7 PTA家庭教育学級

PTAが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行うことにより、子どもの健全な成長に向けた学校・家庭・地域の連携による学習活動の振興を図る。(各単位PTAの企画による)

説明会 4/26(火)10:00~12:00 (小・中学校)

報告会 令和5年3月 開催(小・中学校) 予定

8 子育て支援啓発事業

地域の子育てに関し、情報提供・フリースペースを提供し支援イベントを行う。

企画運営:子育てを考える会「グループ」

「子育てひろば」4~7月第2・第4火曜 9月、3月第2火曜 10:00~12:00 多摩市民館

10~2月 第4金曜 10:00~12:00 KFJ多摩すかいきつず【年間継続(8月を除く)】

対象:0歳~就学前の子どもと親

「外国人の子育てひろば」4~7月、3月 第2金曜 10:00~12:00 多摩市民館

9~2月 第3金曜 10:00~12:00 KFJ多摩すかいきつず【年間継続(8月を除く)】

対象:外国人親子

Ⅲ 市民学習・市民活動活性化学習事業

1 市民自主学級

区ごとに、企画提案会を開いた後の選考委員会の選考結果に基づき、市民グループが市民館との協働により地域の問題等に関する継続的な学習の場を設ける。

	受託グループ名	事業内容
学級1	グループ わっか	<子育て・地域活動> 「たま親子学級~子育て=親育ち~」 子どもが保育園に通うまで0~1歳の1年間の子育てを、笑顔で楽しく過ごせるように学ぶ。親同士も知り合いになって、子育てが気楽になるような講座を行う。 8/30(火)、9/6(火)、9/13(火)、9/23(金祝)、9/27(火) 10:00~12:00 全5回 0歳から1歳半の子を持つ親子10組(親子同室参加) 9/27は公開講座で10組、別に募集

2 市民自主企画事業

区ごとに、企画提案会を開いた後の選考委員会の選考結果に基づき、市民グループが市民館との協働により地域特性に応じた学習・文化・芸術活動の場を設ける。

	受託グループ名	事業内容
事業1	ふらっとカフェを広める会	<まちづくり> コミュニティカフェ運営講座&ふらっとカフェ運営 “そこへ行けば誰かに会える、話せる”誰もがふらっと立ち寄れる地域の居場所を提供するため、感染症対策やコミュニティカフェの基本的な知識を学ぶ。 講座:「今だから知っておきたい!コミュニティカフェ運営講座」 7/5、7/12、(7/26は延期) 火曜日 13:30~15:30 全3回程度 定員20人 ふらっとカフェ:5/10、5/24、6/7、6/21、(8/2、9/6は中止) 火曜日 13:30~15:00 多摩市民館第1会議室 10月からは、毎月第1火曜日(1月は第2火曜日) 生田出張所大会議室

3 PTA活動研修 ~よりよいPTA活動のために

- (1) 学年学級委員会(小・中学校)1回
- (2) 校外委員会(小・中学校) 1回
- (3) 広報委員会(小・中学校) 1回
- (4) 成人委員会(小・中学校) 1回
- (5) 役員研修会(小・中学校) 1回

【共催】多摩区PTA協議会

5/12(木)~6/16(木) 10:00~12:00

4 市民活動エンパワーメント研修

市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民が自ら考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように、市民全体の地域づくりを支援する。

「動画制作 初めて!講座」

6/7(火)~7/5(火) 10:00~12:00 全5回 定員20人

5 市民講師活用事業

様々な分野において豊富な経験や資格、技術等を持っている市民が、地域の生涯学習における身近な学習支援者「市民講師」として活躍できるよう育成・支援を行う。

実施時期 秋~冬に開催予定

会場: 多摩市民館ほか

6 生涯学習交流集会

いきいきとした多摩区の社会教育の展開に向け、市民と職員が率直な意見交換をし、市民主体の地

域の生涯学習を創り出すことをめざす。

・市民自主学級・市民自主企画事業及び多摩市民館を中心に自主的な活動を行うグループの学習成果の報告とパネル展示のほか、今年度はコロナ禍で活動を進める区内の団体を講師として招き、感染対策を取りながらの活動の工夫と参加者の反応を聞き、新しい生活様式の中で進める地域のつながりづくりについて考える。

令和5年1月土曜日または日曜日に開催予定

7 「地域の寺子屋事業」コーディネーター養成講座

地域の中で学校施設や地域の施設を活用しながら、社会教育的な事業を実施する人材や団体を養成する講座(多摩区、麻生区合同開催)

6/17～7/8 金曜日 10:00～12:00(第3回 6/26 10:00～11:30 東菅小学校寺子屋
第5回 6/29 13:30～14:30 菅小学校寺子屋)全5回 多摩市民館ほかで開催

8 多摩区寺子屋コーディネーター情報交換会

年1回開催。開催日未定

9 学習情報提供・学習相談事業

市民の学習と活動を支援や様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し公開・提供。学習についての情報照会・相談を受け対応する。

「生涯学習相談コーナー」運営:多摩生涯学習相談ボランティアの会

市民の学習と活動を支援するために、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、提供すると共に、生涯学習相談員により市民からの情報照会・相談を受け対応する。

【年間継続】毎週火曜日午前(第3火曜日は午前・午後)

IV 市民と行政の協働・ネットワーク学習事業

1 課題別連携事業

(1)第21回多摩ふれあいまつり

6/19(日) 10:00～15:00

会場:多摩市民館他

「バリアフリー わたしとあなたとこの街と」をテーマに、多摩区で福祉活動をしているグループや福祉に関心のある人たちが、地域で行っている活動に関する情報を発信し、「バリアフリーのまちづくり」の理解と啓発をめざすまつり

主催:たまわかくさ(多摩区当事者・ボランティア連絡会)、多摩ふれあいまつり実行委員会

(2)たま学びのフェア 2023

多摩市民館で活動している団体等による学びの場を広げるイベント

3/11(土)、12(日) 10:00～16:00 会場:多摩市民館 【主催】たま学びのフェア実行委員会

(3)多摩区子育て支援会議

9/8(木)、2/2(木) 全2回 会場:多摩市民館、生田出張所

多摩区内の子育て関係機関、支援団体、市民グループによる会議

2 行政区・中学校区地域教育会議推進事業 川崎市委託事業

令和4年度活動日程

・総会:6/2(木) 議長:高森 康広

【多摩区地域教育会議・子ども会議】

・11/3(木・祝) 会場:中野島小学校

【多摩区地域教育会議・教育を語るつどい】

・11/26(土) 9:30~12:30 会場:多摩区総合庁舎11階会議室

【多摩区地域教育会議・広報紙「ちえの輪」発行】

年3回

3 文化団体連携推進事業

(1)春の文化祭 いけばな展 4月、バレエコンサート 4/24(日) 多摩区文化協会

(2)多摩区文化祭 芸能の部 10/22(土)・23(日) 多摩区文化協会

(3)文化講演会

(4)文化サロン

(5)文化教室

4 地域課題対応事業 ※区役所費による事業

「第20回たまたま子育てまつり」 9/18(日) 9:45~15:00 会場:多摩市民館

主催:たまたま子育てまつり実行委員会

地域で子育てを支える環境づくりを目的とした子育てに関する企画やステージ・情報提供等

5 インターンシップ受け入れ

3大学連携事業(多摩区役所企画課所管)として8/31~9/2 日本女子大学受け入れ予定

V 現代的課題対応学習事業

1 現代的課題学習事業

現代的、今日的な課題に係わる学習機会を提供し、今を生きる市民の学習を支援する。

秋~冬開催予定

VI 学習環境整備事業

1 広報・刊行活動

多摩市民館だより 年6回(5/1、7/1、9/1、12/1、2/1、3/31)

8,000部作成、多摩区内小学校(7月号まで)、各町内会・自治会回覧(9月号から)及び各公共施設にて配布

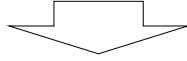
2 情報機器等整備貸出活動

川崎市視聴覚ライブラリーと連携し視聴覚教材を利用した学習ができるよう視聴覚機器及び教材を貸出する。(市民館ホームページ、学習相談・学習情報提供等により広報)

多摩市民館専門部会 令和4・5年度のテーマについて

○ これまでの調査・研究報告書と第1回会議での主な意見

- ・ 前期、前々期の調査・研究報告書で「市民館と地域の連携」というテーマで検討

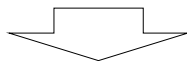


「これまで市民館を利用してこなかった人や、距離や交通手段等の事情により市民館を利用しづらい人も多いと思われることから、こども文化センター、老人いこいの家、学校開放施設などに市民館が出向き、(中略)事業や講座等を展開していくことが望まれる。」(令和2・3年度報告書 P3)

- ・ 市民館が多摩区に一つなので、生田出張所やこども文化センターの方が近い。一方、市民館に来ることで、普段と違うほかの地域の人たちとの交流が生まれることもある。

○ 市民館の役割

- ・ 社会関係資本を充実させる施策の実施
- ・ 様々な分野における社会参加の機会の創設
- ・ 多くの区民にいきわたる広報ツールへの取り組み
- ・ 地域人材の育成と共に支え合う地域社会の構築

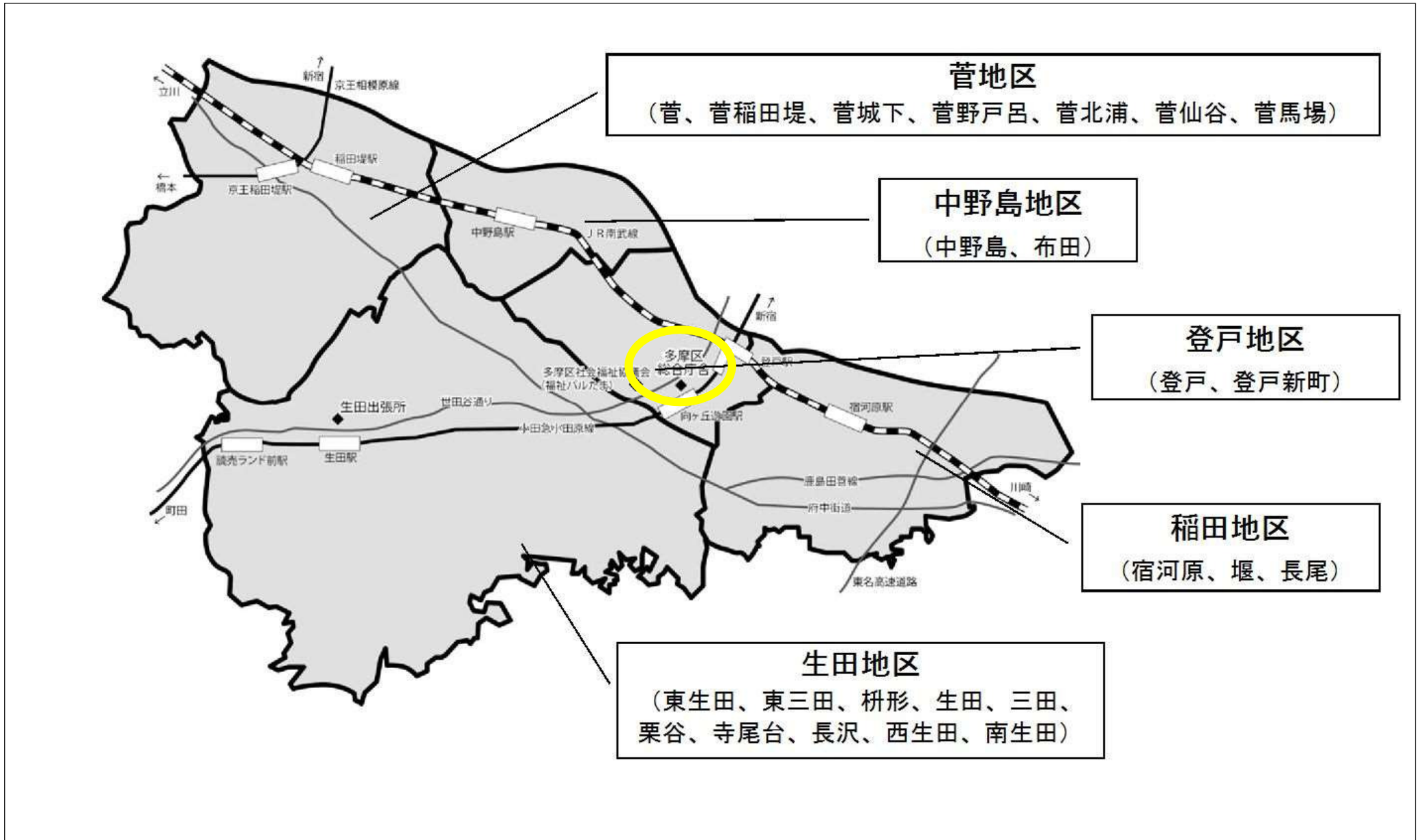


『学び』を社会のいたるところで多く展開し、豊かな地域づくりを支援し、「社会教育を通じ『人づくり』、『つながりづくり』、持続可能な『地域づくり』といったまちづくり施策の推進役としての機能が求められています。」(「市民館・図書館の管理・運営の考え方」 P4)

○ 多摩区内での地域づくりの取組

多摩区役所では、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるように、次ページのとおり、多摩区の地域包括ケアシステムの地区割り＝地区社協の区域ごとに、地域でのつながりや支え合いの仕組みづくりを推進

地区社協の区域（5地区）＝多摩区の地域包括ケアシステム地区割り



第3回日程案

日程	時間	場所	○	×
12月1日(木)	10時～12時	11階1102室		
12月1日(木)	14時～16時			
12月5日(月)	10時～12時			
12月5日(月)	14時～16時			
12月6日(火)	10時～12時			
12月7日(水)	10時～12時			
12月7日(水)	14時～16時			
12月8日(木)	14時～16時			

第4回 2月開催予定(土曜日午後)

(2月で既に都合が悪い日を教えてください)